まず、仕事の話を聞くところから。

現場の話から、
動く仕組みへ。

何を作るか決まる前に、いまの流れと困りごとを一緒に整理します。優先課題を決め、試作・実装・運用への引き継ぎまで、榮 健伸が一つの窓口で関わります。



榮 健伸 | 技術パートナー

開発経験6年。Web・SNS運営、
飲食店の開業支援、店舗運営・教育の相談役。
業務と技術の両面から相談に応じます。

担うのは、四つのつながった仕事。

1 **聞く**
現場と責任者の話を聴く

2 **決める**
優先課題と対象外を揃える

3 **作る**
試作し、動作を確かめる

4 **根付かせる**
手順と引き継ぎを整える

現場を理解し、課題整理から仕組みの実装・定着まで関わる技術パートナー。この役割をFDE（Forward Deployed Engineer）と呼びます。

話せること

困りごとから、相談できます。

どのツールを入れるかより先に、誰がどこで困り、何が止まっているかを確かめます。

01 / 現場と本部

情報がつながらない

入力先が複数ある、報告の形が拠点ごとに違う。流れを描き、先に揃える項目と責任を決めます。

02 / 教育と手順

使い方が定着しない

担当者ごとに手順が違う、例外時に止まる。実際の操作と判断を確認し、引き継げる形にします。

03 / データと判断

数字を見る前に迷う

CSVの形式や定義が揃わない。欠けた値や確認待ちを分け、判断に使える範囲を明らかにします。

04 / 新しい試み

小さく試したい

新規事業や社内の仕組みを、最初から作り込まずに検証します。続ける条件とやめる条件も考えます。

向き合い方

平日日中のオンライン打合せを基本にします。現場訪問が必要な場合は、地域・回数・目的を相談して決めます。本人が担うことと依頼者側で決めることを分けます。

一般例 / 顧客実績ではありません

試す道具と、現場の設計。

公開中の50ツールは43の実務ツールと7つの架空デモです。登録せずブラウザで試せます。入力内容の扱いは各ツールの案内をご確認ください。

CSV健診

試せること

列の欠けや形式の違いを見つける。

本番で確かめること

元データ、入力担当、例外、修正権限を定義し、毎回の確認手順へ。

手順書

試せること

作業を順に並べ、抜けを見つける。

本番で確かめること

担当者の判断、例外時の連絡、更新責任と教育方法まで決める。

採算試算

試せること

仮の単価・費用・件数で計算する。

本番で確かめること

自社の費目・集計期間・データの根拠を確認し、意思決定の条件を合意する。

これらは使い方を示す一般例です。顧客への納品実績や改善成果を示すものではありません。実際の作業は、対象業務とデータを確認してから設計します。

聞く → 決める → 作る → 根付かせる

進め方を、先に見える形に。

相談から着手までの境界を明確にし、後で認識がずれないようにします。

1

状況を聞く

対象業務、困っている人、現在の流れを伺います。

初回の状況相談は無料。

2

優先順位を決める

先に扱う課題、対象外、進め方の提案を整理します。

進め方の提案まで無料。

3

試作・実装する

仕様と受入条件を揃え、試作して操作と例外を確かめます。

詳細設計・実装は合意後に有償。

4

現場に引き継ぐ

手順、更新担当、困ったときの連絡先を整えます。

運用支援の範囲は合意後に有償。

着手前に揃えること

作業範囲・費用・期間、扱うデータと権限、受入条件、引き継ぎと保守の範囲を文章で確認します。実データが必要な場合は、利用目的と保管先を決めてから扱います。

最初の相談で話したいこと

まずは、三つだけ。

詳しい仕様書や実データがなくても大丈夫です。いま分かる範囲で教えてください。

01 **いま、誰が困っていますか。**

現場・本部・お客様など、作業をしている人を思い浮かべてください。

02 **どこで仕事が止まりますか。**

入力、確認、報告、教育、判断など、具体的な場面を教えてください。

03 **変わったと判断する条件は何ですか。**

時間、誤り、引き継ぎやすさなど、望む状態を言葉にします。

よくある質問

何を作るか未定でも相談できますか。

はい。初回は状況を伺い、優先課題と進め方を整理します。詳細設計・実装・運用支援は、範囲・費用・期間に合意してから有償で進めます。

課題の整理から、相談してください。

公式サイト https://kenshin-works.jp/

受付方法と最新の案内は、公式サイトでご確認ください。